

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスLOOP		公表日		令和8年2月14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		その日の利用者に応じて配置を決めている。	利用者の身体の状態によっては狭い時もある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用者の人数によってシフトを組んでいる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		トイレ、浴室の視覚化や手すりの設置等バリアフリーで対応しており、段差もなく安全に利用できる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		子ども達が安全に過ごせるよう物品やフロアは毎日消毒し、日々決められた清掃を行っており清潔にしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要に応じて、カーテン等を利用し、個別の空間を作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3			業務改善は適宜行なわれているが、目標設定は不透明であるため、今後設定していくよう努める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者の評価表のアンケートを実施し、事業所内で自己評価を行い方策を検討している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員の意見を常時聴取できる環境や機会をつくり業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				今現在、外部評価は行なえていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個人的な目線で判断せず、作成する際には支援に関わっているスタッフから聞き取りし、作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画内容はミーティングで報告、共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の様子もHUGシステムを導入し、記録し確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		チームではないが担当を決めて指導や見直し、確認を行っている。	チームで協力して立案できるように打ち合わせ時間をもつよう支援する。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		6ヶ月毎に見直している。変更があるときは都度話し合い固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別性によって色々な内容の活動がある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		前日に役割分担を行い、支援の入り方や内容を決めている。	「必ず」はできていないので、朝の迎えが終わってから少しでも打ち合わせの時間をつくる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		気づいた点や振り返りで感じたことは日報を活用し、共有している。当日が無理なときは翌朝の日報で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		HUGシステムの連絡帳で記録し、モニタリング時に検証・改善を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月毎に保護者の方と相談し見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管のみが参加ではなく、保育士・看護師も参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		何かあった際は保護者から連絡をもらっている。	一部の学校のみアプリで共有し合うシステムを活用しているので、他の学校とも適切に行えるようにしていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3			対象者がいないため行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		相談支援が主催する担当者会議に参加して、情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。				今現在行なっていない。助言を受ける機会があれば参考にしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		現在、交流の機会はない。	今後、要望があれば交流の機会をつくっていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		参加出来る時はしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳、送迎時に一日の様子を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			現在行なっていない。今後家族参加型の研修を実施していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明させていただきお伝えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		契約時やモニタリング時に面談させていただき確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		支援内容をご説明し、同意の上サインをいただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		LINEやHUGシステムでいつでもご連絡いただけるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		現在行なえていない。	前向きに計画中である。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		電話やLINEを活用し迅速に、適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		SNSやブログを活用し、発信している。	発信の数が少ないので、今後増やしていくように努める。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きの書庫にて保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		SNSやブログでは本人を特定はできないようにしている。ジェスチャーやカード等を用いて関わっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		地域や他事業所の行事に参加している。	本事業所では開催していないので、前向きに検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		策定し職員には周知できているが、ご家族様には契約時にお伝えしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		策定し職員には周知できているが、ご家族様には契約時にお伝えしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		服薬やてんかん発作、アレルギーなどの確認はしている。予防接種もアセスメントの際、確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			安全確保の共有が出来ていないので、弊所でおこなっている安全計画を周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットを記入し、全職員で共有し確認するなど周知出来るシステムになっている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		委員会を設置し、研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時にご説明させていただき、保護者様から同意を得て計画案に記載している。		